

応力緩和試験(引張、圧縮)

概要

クリープ試験は一定荷重を与えて、経過時間ごとのひずみを測定する試験であるのに対して、応力緩和試験は一定ひずみを与えて、経過時間ごとの応力変化を測定します。

仕様

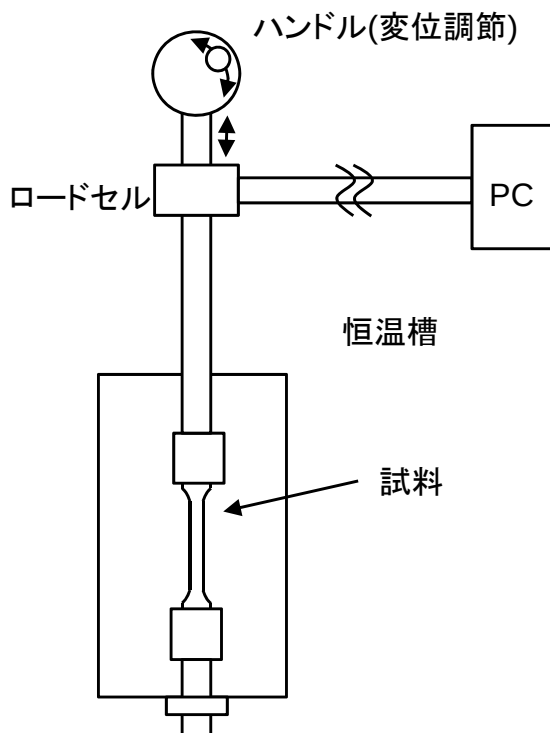
	荷重	温度(°C)	試験可能数
試験機A	9.8~2450N	23~150	n=3
試験機B	9.8~9800N	23~150	n=3

※ 特殊な形状の試料につきましてはご相談ください。

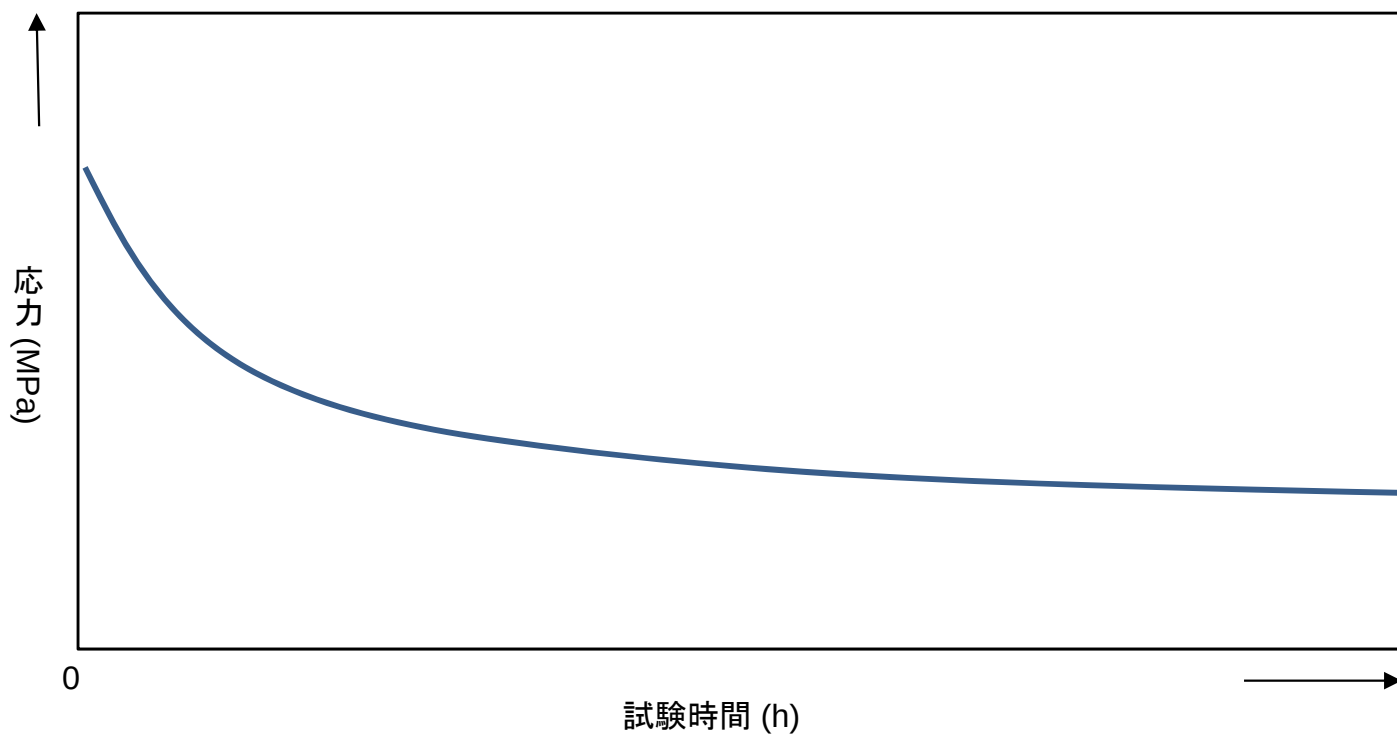
試験機の仕様上、試験開始時におきましては、ひずみ制御ではなく荷重制御となります。



装置外観



試験略図



応力緩和曲線例